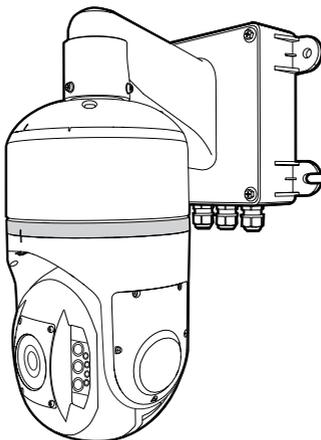


屋外 HD ネットワークコンビネーションカメラ

型名 **VN-H678WPR**

取扱説明書（設置編）



本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
最新版の取扱説明書は、下記のモバイルユーザーガイドまたは URL から PDF をダウンロードしてご確認ください。

モバイルユーザーガイド

出先などからは、iPhone 端末で取り扱い方法をご覧になれます。

<http://manual3.jvckenwood.com/jkpi/manual/jp/>

モバイルユーザーガイドは、iPhone 端末に標準搭載のブラウザで閲覧することができます。



お買い上げありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書（設置編）」、「取扱説明書（PDF 版）」、「モバイルユーザーガイド」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

はじめに

特長

屋外対応、PTZ カメラ

- F1.6 光学 30 倍ズームレンズと、高速回転台を
高耐久性屋外ハウジングに一体化しました。

仰角 30°への操作可能

- 従来死角になっていた水平より上方の監視が可
能になりました。

フレームレート 60 fps 対応

- 60 fps により滑らかな動画を撮影し、決定的瞬
間を逃しません。

マルチエンコード

- 高パフォーマンスエンコーダーの搭載によっ
て、同時に 4 エンコードが可能です。

WDR(ワイドダイナミックレンジ)機能

- WDR 機能で厳しい逆光でもしっかり撮影でき
ます。

プライバシーマスク機能の搭載

- 撮影する場所に、映したくない場所がある場合、
その部分を塗りつぶす設定が可能です。

赤外照明を搭載

- 赤外照明を搭載し、暗闇(0lx)での暗視モニタリ
ング可能です。また、ズーム操作に連動し、広角
時は広範囲を、望遠時はズーム対象を照射し、視
認性に優れた撮影が可能です。

耐塩塗装

- 屋外使用に適し、耐候性に優れた塗装を採用し
ています。

レンズカバーに親水コート加工

- 親水コートにより水滴が付きにくいため、視認
性が向上しています。

マルチキャストに対応

- マルチキャスト対応によって、同じ映像データ
をネットワーク上の複数のパソコンへフレーム
レートを下げることなく一度に送信することが
可能です。

ビューワーソフト内蔵

- カメラ映像(JPEG または H.264)をパソコンで
モニタリングするためのビューワーを内蔵して
います。本機の設定、制御も可能です。使いやす
さを追求した GUI を採用しています。

音声の入出力可能

- 外部マイクを接続して音声をカメラからパソ
コンに入力できます。また、パソコンに入力した音
声をネットワーク経由でカメラから出力するこ
ともできます。

SD カード記録機能の搭載

- microSD カードを使用して監視映像、音声を記
録することができます。また、記録したその映像
をネットワーク経由で見ると、およびダウンロード
することができます。
- パソコンで microSD カードに記録した映像を
再生できます。

この取扱説明書の見かた

本文中の記号の見かた

- ご注意 : 操作上の注意が書かれています。
メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる
内容が書かれています。
P. : 参考ページを示しています。

本書記載内容について

- 最新の取扱説明書やファームウェアは、ホーム
ページのビジネス向け製品・サービスの各種ダ
ウンロードにてご確認ください。
ホームページ: <http://www3.jvckenwood.com/>
- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、
または全部を弊社に無断で転載、複製などを行
うことは禁じられています。
- Windows、Internet Explorer、ActiveX、Windows
Media Player は米国 Microsoft Corporation の米
国およびその他の国における登録商標です。
- Intel Core は、米国およびその他の国における
Intel Corporation の商標です。
- iPhone は、米国およびその他の国で登録されて
いる Apple Inc. の商標です。
- QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標
です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各
社の商標、または登録商標です。本書では™、®、
©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容
については、改善のため予告なく変更するこ
とがあります。
- 本書で使われている画面は、実際のものとは異
なる場合があります。
- microSD カードは、「SD カード」として説明し
ているところがあります。

取扱説明書の構成

本機の取扱説明書は、次の構成になっています。

名称	内容
VN-H678WPR 取扱説明書 (PDF 版)	本機の設置方法、運用に必要な設 定・操作方法について説明してい ます。弊社ホームページからダ ウンロード、閲覧できます。
VN-H678WPR 取扱説明書(設 置編)(本書)	本機の設置方法、基本的な操作方 法について説明しています。
VN-H678WPR モバイルユー ザガイド	本機の設置方法、運用に必要な設 定・操作方法について説明してい ます。 スマートフォン、タブレット、パ ソコンなどで閲覧できます。

もくじ

はじめに

特長	2
この取扱説明書の見かた	2
もくじ	3
安全上のご注意	4
設置作業時のご注意	8
正しくお使いいただくためのご注意	9
添付物・付属品	12

製品概要

各部の名称	13
microSD カードについて	15
アラーム入出力信号について	16

設置・接続

カメラの取り付け	17
設置・接続の準備	17
カメラ本体と、壁面取付ブラケット(アーム部) の取り付け	19
動作環境	23
ネットワークについて	24
接続	26
映像確認の準備	26
IP アドレス(工場出荷値)	28
パソコン接続および映像確認の準備	28

その他

こんなときは	29
保証とアフターサービス	32
仕様	33

はじめに (つづき)

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示 (文字含む) を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています
	注意	この表示 (文字含む) を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています

絵表示の説明

- 注意 (警告を含む) が必要なことを示す記号



一般の注意



感電注意



手をはさまれないよう注意

- してはいけない行為 (禁止行為) を示す記号



禁止



水場での使用禁止



ぬれ手禁止



接触禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

- 必ずしてほしい行為 (強制・指示行為) を示す記号



電源プラグを抜く



一般的指示

- 各説明項目の中には、重複している内容もあります。



警告

異常が発生したとき

- 万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

火災や感電の原因となります。

- ・煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- ・画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
- ・内部に水や物が入ってしまったとき。
- ・落したり、キャビネットが破損したとき。
- ・電源コードが傷んだとき。(芯線の露出、断線など)



このようなときは、すぐに電源を切り、電源のソケットを抜いてください。煙が出ているときは、止まったのを確かめてから販売店に修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

設置について

- 不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いた所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがをする原因となります。



- 風呂場など水のある場所で使わない

機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。また、雨天、降雪中、水辺で使用するときにご注意ください。



■ 海岸近くでは使わない

塩害により故障の原因となります。



■ 設置／接続作業は販売店などに依頼する

設置／接続作業は、販売店または専門業者にご依頼ください。
AC100 V～200 V の接続は、電気工事士の有資格者が行なってください。



電源や電源コードについて

■ 表示された電源電圧（交流100 V～200 V）以外で使用しない

火災や感電の原因となります。



■ 雷が鳴り出したら、ケーブル類や電源コードに触れない

感電の原因となります。



■ 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・電源コードを加工しない。
- ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- ・電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
- ・電源コードを熱器具に近づけない。



■ 電源のソケットにほこりや金属が付着したまま使用しない

ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布でふいてください。



取り扱いについて

■ 内部に物を入れない

金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。



■ この機器の（裏ぶた、カバー、キャビネット）ははずしたり、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。



注意

設置について

■ この器機の上に重い物を置かない

重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり落ちたりして、けがの原因となることがあります。



■ 本機を設置する場合

本機を設置する場合は、専門技術が必要となりますので、販売店にご依頼ください。取り付けねじやナットでの締め付けがゆるいと落下するおそれがありますので、確実に締め付けてください。



■ 十分な強度を持った場所に取り付ける

本機には高速回転部分があるので、振動や本機質量などを考慮し、十分な強度を持った場所に取り付けてください。

質量：約10.2 kg
強度が不十分な場合は、振動のためモニター上で画ブレが発生したり、最悪の場合落下し、下に人がいた場合、重大な事故となる危険性があります。



次のページへつづく

はじめに (つづき)

■ カメラを正しく取り付ける

落下防止ワイヤーは必ず接続し、取付ねじやナットはきちんと締め付けてください。



■ 関連機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明書に従って接続する

接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



■ 電源や電源コードについて

■ 電源のソケットはコードの部分を持って抜かない

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。



■ めれた手で電源のソケットを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



■ 移動するときは、電源のソケットや接続コード類をはずす

接続したまま移動すると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



■ 取り扱いについて

■ この器機の上に乗らない、ぶら下がらない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



■ 長期間使用しないときは、電源のソケットを抜く

安全および節電のため、電源のソケットを抜いてください。



■ 移動するときは、重いので必ず2人以上で持つ

けがの原因になることがあります。



■ この器機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手が届くところに置かない

頭からかぶると窒息の原因となります。



■ レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



お手入れについて

- **お手入れするときは電源のコンネクターを抜く**

感電の原因となることがあります。



- **2～3年に一度は内部の掃除を販売店に依頼する**

内部にホコリがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。



- **定期的に点検する**

取付部の劣化や振動によるねじのゆるみを定期的に点検し、落下の危険がないことを確認してください。



音声・スピーカーについて

- **ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない**

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- **音量を下げた後、電源を入れる（機械式ボリュームの場合）**

音量が上がっていると、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



- **聞き終わったら、電源を切る前に、音量を下げる（電子式ボリュームの場合）**

音量が上がっていると、電源を入れたとき突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



- **長時間、音がはずんだ状態で使わない**

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



はじめに (つづき)

設置作業時のご注意

設置作業時にご注意いただきたい重要な項目です
ので、必ず設置作業前にお読みください。

この「設置作業時のご注意」は当社製セキュリティ
カメラ全般についての設置作業時のご注意を記載
しています。

お客様がお買い上げのカメラによっては、記載さ
れている機能が搭載されていない場合や機能名が
異なる場合があります。

設置作業時のご注意について

- 開封時、カメラや添付物・付属品の外観に目視で
きる破損がないことを確認してください。
- 壁または天井などに取り付けるときは特別な注
意が必要です。お客様による工事は避けて専門
の工事業者にお任せください。カメラが落下す
るとけがなどの原因となります。
- 設置作業時には、カメラの落下に十分注意して
作業を行なってください。
- 天井への取り付けの際は、落下物から目を保護
するため、必ず保護めがねを着用して行なっ
てください。
- 壁または天井などの設置場所の強度を確認して
ください。カメラが落下する原因となりますの
で、十分な強度をもっていない場所に取り付け
る場合は、設置前に補強を必ず行なってくだ
さい。
- 取り付けねじやナットでの締め付けが不十分だ
とカメラが落下する原因となります。締め付け
は適正かつ確実に行なってください。また、取り
付け部の劣化や振動によるねじのゆるみを定期
的に点検し、落下の危険がないことを確認して
ください。
- カメラにぶら下がったり、ゆすったり、物を引っ
掛けたりしないでください。過度の荷重がかか
ると、カメラが落下してけがや事故の原因とな
ります。
- 専用の取り付け金具が添付されている場合、必
ず使用してください。
- 落下防止ワイヤーは必ず接続してください。
- 雨天時の設置作業は、雨滴が内部に入らないよ
う十分にご注意ください。また、防塵・防水対応
のカメラを多湿環境で設置した場合、すぐ使用
するとレンズなどがくもる恐れがあります。そ
の場合、しばらく放置し、くもりが取れるまで使
用しないでください。シリカゲルが添付されて
いる場合は忘れずにカメラ内部にシリカゲルを
装着してください。

- カメラや接続ケーブルなどへの誘雷に対応はし
ていますが、万全ではありません。落雷の被害が
考えられる取り付け場所では、必ず接続ケーブ
ルにアレスターを追加するなどの対応をとって
ください。
- レンズカバーなどの光学部品は直接手で触れな
いようにしてください。指紋などが付着してい
ると画質劣下の原因となる場合があります。
- ヒーター内蔵カメラの場合、寒冷地で電源を入
れると内部が温まるまでカメラにアクセスでき
ない場合があります。寒冷地で使用する場合は
常時通電して内部温度が下がらない状態でご使
用することをおすすめします。
- カメラの防塵・防水性能は、取扱説明書などの設
置手順や設置作業時のご注意に記載されている
防水処理を施されている状態での性能になりま
す。カメラと取り付け面の防水処理や接続ケー
ブルの防水処理を確実に行ってください。
- パン/チルト/ズーム機能搭載カメラ(PTZ カメ
ラ)は必ずカメラ部が水平になるように設置し
てください。傾いて使用すると正しく動作しま
せん。

電源について

- カメラに電源を供給するときには取扱説明書を
確認して正しい電源・電圧でお使いください。定
格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発火
の恐れがあります。故障した場合は、まず電源を
切って、速やかにサービス窓口へ連絡してくだ
さい。外観・動作に異常がなくても内部にダメ
ージが残っている場合があります。速やかにサー
ビス窓口へ連絡して点検(有償)を受けてくだ
さい。
- DC 12 V / AC 24 V 仕様のカメラの電源は一次
電源から絶縁されたものをお使いください。
- AC 100 V/AC 200 V 仕様のカメラは商用電源
AC 100 V/AC 200 V(50 Hz/60 Hz)を使用してく
ださい。
また、異常発生時の保護のため、電源コードを容
易に抜き差しできるようにしてください。設置
条件により容易に電源コードが抜き差しできな
い場合は、カメラを接続する電路に過電流遮断
器(サーキットブレーカーなど)を設け、容易に
電源を遮断できるように配線工事を行なってく
ださい。
- AC 100 V~200 V 電源を使用するとき設置工
事には、専門の資格が必要です。

正しくお使いいただくための ご注意

この「正しくお使いいただくためのご注意」は当社製セキュリティカメラ全般についての内容を記載しています。

お客様がお買い上げのカメラによっては、記載されている機能が搭載されていない場合や機能名が異なる場合があります。

妨害波に関する表示

警告

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

保管および使用場所について

- 下記のような場所には置かないでください。
 - スポットライトなど、高温になる照明器具に近いところ
 - 使用周囲温度範囲外の暑いところや寒いところ
 - エアコンの吹き出し口近くなど直接冷気の当たるところ
 - 火口や温泉場、トンネルの中など腐食性のガスが発生するところ
 - 可燃性のガスを使用するところ
 - 放射線や X 線を発生するところ
 - 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
 - トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器に近いところ
 - 振動、衝撃のあるところ
 - 砂の多いところ
 - プールなど薬剤を使用するところ
 - 海岸付近など潮風による塩害の発生が予想されるところ
 - 直射日光が映るところ
- 雨や湿気にさらされるところで保管しないでください。屋内用カメラは雨や湿気にさらされるところでは使用できません。屋外で使用する場合は、ハウジングなどを使用してください。
- カメラを寒い場所から暖かい室内などへ移動したときに、結露が発生し、動作しない場合があります。この場合は室温にしばらく放置して結露が取れてから、電源を入れてください。

- 防塵・防水性能 IP66 に対応とは、どのような環境下でも浸水しないことを保証しているものではありません。

お手入れについて

- お手入れは、電源を切ってから行ってください。
- カメラの外装の汚れは乾いた柔らかい布などで取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めてふき、後でからぶきしてください。シンナーやベンジンなどでふかないでください。表面が溶けたり、くもったりします。
- 親水コートに対応したカメラは、洗剤を使用すると親水性が損なわれますので水をかけて汚れを落とすようにしてください。
- レンズカバーのガラス面は親水コート加工をしています。傷つき易いので布などで拭かないでください。汚れた時は水で洗い流してください。

輸送について

- カメラの入っていた箱は捨てずにとっておき、輸送する場合はその箱を使用してください。
- 輸送時の衝撃に耐えるため補助テープで固定しているカメラもあります。カメラの故障防止のため可能な限り元の梱包状態に戻してから輸送することをおすすめします。

省エネについて

- 長時間使用しない場合は、安全および節電のため電源を切ってください。

時計機能について

- カメラは電源を供給しない状態で放置されると時刻が初期化されます。初めてお使いになる場合や、時刻が初期化された場合は、時刻の設定を行なってください。時刻を設定しなかった場合、ログ、SD カード記録およびメール送信の時刻情報などが正しく表示されません。
- 時刻サーバー (SNTP サーバーや NTP サーバーなど) を使用して自動的に時刻合わせを行う機能を搭載したカメラの場合、より正確な時刻で記録するために、時刻サーバーのご使用をおすすめします。

パスワードについて

- 工場出荷時のユーザー名とパスワードは広く公開されているため、変更せずに使用していると大変危険です。容易に推測されない文字と数字を組み合わせたユーザー名とパスワードに設定してください。また、ユーザー名とパスワードは定期的に変更してください。

次のページへつづく

はじめに (つづき)

SD カードについて

- SD カードは寿命のあるデバイスのため長期間の使用はおすすめでできません。保存データの消失・破壊による損害に対する責任は一切負いません。大切なデータはバックアップをお願いします。
- SD カードは下記の条件などによって保存データを消失・破壊することがあります。
 - SD カードに電氣的・物理的なショックを与えた場合
 - データのアクセス中に SD カードを取り出したり機器の電源を切ったりした場合
 - SD カードが寿命となった場合

赤外線照明について

- カメラ内蔵の赤外線照明の赤外光を直射しないでください。
- カメラ内蔵の赤外線照明を使用する場合は、必ず夜間の映像を確認してください。
- カメラ内蔵の赤外線照明を使用する場合は、下記のような要因により赤外光が映り込み、画像が白く光って見えることがあります。故障ではありません。
 - 天井、壁面、その他の障害物などに反射する場合：レンズの画角や撮影方向を変えることや、障害物を移動させることにより改善することがあります。
 - レンズカバーなどに付着した汚れに反射する場合：清掃することにより改善することがあります。
 - チルト/ローテーションの位置によりカメラに反射する場合：レンズの画角や撮影方向を変えることやチルト/ローテーションの位置を変えることにより改善することがあります。
- 広角側で撮影すると、画面の四隅に白い光が映る場合があります。ズームを少し望遠側に調節することで白い光が映らなくなることがあります。
- 環境や被写体によっては赤外光の映り込みが改善できない場合があります。その場合はカメラ内蔵の赤外線照明を使用せずに別途赤外線照明投光器を用意してご使用くださることをおすすめします。

フォーカスについて

- 高倍率レンズを使用しているカメラの場合、温度変化によってフォーカスがずれることがあります。故障ではありません。
- フォーカスを合わせる場合は、実際に使用する環境の温度に近い状態で行うことをおすすめします。
- 使用中の温度変化によってフォーカスがずれる場合は、オートフォーカス機能を使用するか、フォーカスを取り直して使用してください。
- オートフォーカス機能はカメラの設定、被写体や光源の状態によっては、フォーカスを合わせられない場合があります。この場合はマニュアルで合わせてください。
- オートフォーカスで合わせにくい被写体
 - 輝度が極端に高い(明るい)被写体
 - 輝度が極端に低い(暗い)被写体
 - 輝度が常に変化している被写体(点滅するライトなど)
 - コントラスト(明暗差)がほとんどない被写体
 - 繰り返しの縦横パターンがある被写体
 - 動きのある被写体
- オートフォーカスで合わせにくい設定
 - AGC で感度アップし画面がザラついている
 - 電子感度アップで画面の動きが少ない
 - 電子ズーム中で十分な輪郭成分が少ない

ズーム動作について

- 下記の現象は内蔵レンズの性能によるもので故障ではありません。
 - マニュアル動作やプリセット選択などによるズーム動作が止まった後に、フォーカスが動く
 - マニュアル動作中のズーム動作がなめらかでない
 - プリセット選択を行なったときのズーム動作中に瞬間的にフォーカスがずれる

音声入出力について

- PTZ カメラの回転機構や電動レンズの動作時、電源 ON/OFF 時、SD カード動作時に雑音が発生する場合があります。故障ではありません。
- マイクゲインの設定値が高い場合、音声に雑音が目立つことがあります。これは故障ではありません。

著作権保護について

- お客様ご自身が、素材映像の著作権者であるか、または著作権者から複製などについて許諾を受けている場合を除き、他人の著作物を素材映像として、複製、改変、送信などするには原則として著作権者の許諾が必要です。
- 許諾を得ないで他人の著作物を複製、改変、送信などした場合には、著作権法違反とされ損害賠償などの責任を負うことがありますので、他人の著作物を素材映像として使用するときは、その著作物の使用許諾条件などについては、お客様ご自身で十分ご確認ください。
- 被写体の権利(者)が存在する場合は、撮影の許諾、利用(加工)の許諾を受ける必要がありますので、お客様ご自身でそれにかかわる許諾条件を十分ご確認ください。
- 録画(録音)したものは著作権上、権利者に無断で使用できません。

免責について

- 設置説明に従わない不完全な取り付けによってカメラが落下した場合、発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。
- カメラの映像や音声によりプライバシー侵害などが発生した場合、万一発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。
- 動き検出、妨害検出、異音検出、アラーム入出力などのカメラの機能は、盗難、火災などを防止する機能ではありません。万一発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。

その他

- 大切な撮影の場合は、必ず事前に動作確認を行なってください。
- 太陽や明るいライトなどの非常に強い光源にレンズを向けないでください。故障の原因となります。
- 強い降雨や降雪の場合、霧が発生している場合などの環境条件によっては映像が不鮮明になることがあります。
- 可視光センサーを搭載しているカメラの場合、下記の状態になると誤動作の原因となります。誤動作を起こす場合は、画角、デナイトの設定などを調節してください。
 - 可視光センサー部が隠れる
 - 可視光センサー部に強い光が当たる
 - 可視光センサー部と被写体の明るさが大きく異なる

- 強い光源、ハロゲンランプ、電球などの赤外線成分が強い光源では黒色の被写体が紫に近い色に映ることがありますが、レンズの特性によるもので故障ではありません。
- 動きのある被写体で残像が見える場合がありますが、故障ではありません。
- モニター出力使用時に、表示領域の広いモニターを用いた場合は画面の外周部に線が見えることがあります。
- 商用電源周波数 50 Hz の地域では、蛍光灯照明下(インバーター照明器は除く)のちらつき(フリッカー)を軽減するため、露光設定を"フリッカレス"や"フリッカー軽減"などに設定してご使用ください。"フリッカレス"などに設定しても、非常に明るい照明環境下では、フリッカーが発生することがあります。
- 広角側で撮影すると画面の四隅にケラレ(黒)が発生する場合がありますが故障ではありません。
- ご使用になるレンズや被写体によっては逆光の明るい部分や強い光源が内面で反射して画像に映り込むこと(ゴースト)がありますが故障ではありません。画角を調整することで改善することがあります。
- ご使用になるレンズや被写体によっては明暗の差が大きい被写体(蛍光灯など)を撮影した場合、明暗の境目が紫色になること(パープルフリンジ)がありますが、これはレンズの特性によるもので故障ではありません。画角の調整や映像(カラーレベル、ブライトネス)の調整をすることで改善することがあります。
- AGC や電子感度アップを大きく設定し暗い被写体を撮影すると、ランダムノイズやカラーノイズが発生したり、動きのある映像が見えなくなることがありますが、撮像素子の特性によるもので故障ではありません。
- CMOS 撮像素子を使用したローリングシャッター方式のカメラは、PTZ カメラや旋回台に搭載するときなどのカメラが動く撮影や動く被写体を撮影する場合に、建物の柱や被写体がゆがみ、実際とは違う映像が出力されますが、撮像素子の特性によるもので故障ではありません。
- PTZ カメラを望遠側で撮影する場合、パンやチルトの動作を行うと画面が振動して見える(回転動作がめめらかでない)ことがあります。この現象はモニター性能によるもので故障ではありません。

次のページへつづく

はじめに (つづき)

- PTZ カメラやファン内蔵カメラなどの場合に、モーターの動作音が聞こえることがあります。故障ではありません。
- PTZ カメラは必ず正しい向きでカメラ部が水平になるように設置してください。カメラの上下を逆さまにしたり、カメラ部を傾けて使用すると正しく動作しません。

その他(本機特有のご注意)

- 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。
- 本機は、PoE++電源使用時はヒーターが動作しません。-10℃以下の環境下で使用する場合は、AC 100V～200V電源で使用してください。
- 本機をAC電源で使用するためには、別売りの電源ソケット(メス)(株式会社七星科学研究所製・NJC-203-PF、CBAS-12-7)が必要です。
- 本機を低温(-40℃～-10℃)の環境下で電源を入れた場合、内蔵のヒーターによって内部が温まるまでのあいだ(最長2時間)は、本機にアクセスできません。低温環境下では常時、通電して使用することをおすすめします。
- 本機は電源投入後、パン/チルト/ズーム/フォーカスの初期動作を行います。初期動作が開始されるまでに2分30秒程度かかりますが、故障ではありません。
- AGCが動作中、トランシーバーなど強い電波を発生する機器を本機の近くで使用すると、映像にビートなど発生することがあります。トランシーバーなどを使用する場合は、本機から3m以上はなれて使用してください。
- 本機をホワイトバランス "ATW-Narrow"、"ATW-Wide"、"ATW-Full"(自動調整)で使用したとき、自動色温度追尾ホワイトバランス回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なることがあります。故障ではありません。
- 高湿時、急激な温度変化によってレンズカバーが曇ることがあります。
- 外来の雑音などによって、アラーム信号ケーブルの長さが50m以下でもアラームが誤動作を起こす場合があります。その場合は、雑音源からケーブルを遠ざけるなどの処置を行なってください。
- マルチキャストを使用する場合は、IGMPv2に準拠したネットワークスイッチを使用してください。
- インテリジェント機能搭載のスイッチングハブの一部機種においては、ブロードキャストまたはマルチキャストの抑制機能が付いています。その機能が有効な場合、本機のマルチキャスト画像が正常に閲覧できない場合があります。
- 落雷やエアコンの電源投入などによって電源電圧が瞬間的に断たれる、または低下した場合、映像が乱れたりノイズが混入することがあります。
- 本機は耐塩塗装仕様ですが、完全な防錆を保證するものではありません。使用環境によっては錆が発生します。設置場所には十分ご注意ください。
- ビューワーで視聴時に音声がずれる場合がありますが、故障ではありません。
- 赤外照明点灯時に対象被写体より手前に物体がある場合やチルト方向が上方を向いている場合は、乱反射により、赤外照明が正常に機能しないことがあります。これは故障ではありません。
- レンズカバー、LEDカバーはガラス製です。破損しないよう、取り扱いにご注意ください。
- 電源投入後、パン/チルト機構部に触ると、ポジションずれの可能性があります。電源投入後はパン/チルト機構部に触らないでください。
- 設置・接続工事終了後、プリセットポジションを設定する前に必ず本機を再起動してください。
- 本機に物がぶつかったり、異物がパン/チルト機構部に挟まったりすると、プリセット位置がずれるなど、故障の原因となります。設置場所には十分ご注意ください。
- 周囲温度が仕様の範囲内であっても強風の中の降雪などにより、ガラス表面やカメラ本体に厚く積雪や氷が付着し解凍できなくなることがあります。このとき、カメラのパン、チルト動作ができなくなる、映像が見えなくなるなどの症状が発生することがあります。凍結の恐れがある場所に設置する場合はご注意ください。
- カメラが凍結状態のとき、パン、チルト動作を行うと故障の原因となりますので、ご注意ください。
- カメラが上方を向いているときは、降雪などにより映像が正しく映らない場合がありますので、ご注意ください。
- 長期間同じポジションを監視する場合、水平回転部の接点抵抗の増加によって映像にノイズが発生したり、パソコンからの操作が不安定になることが考えられます。そのため定期的クリーニングを行うオートクリーニング機能を備えています。

添付物・付属品

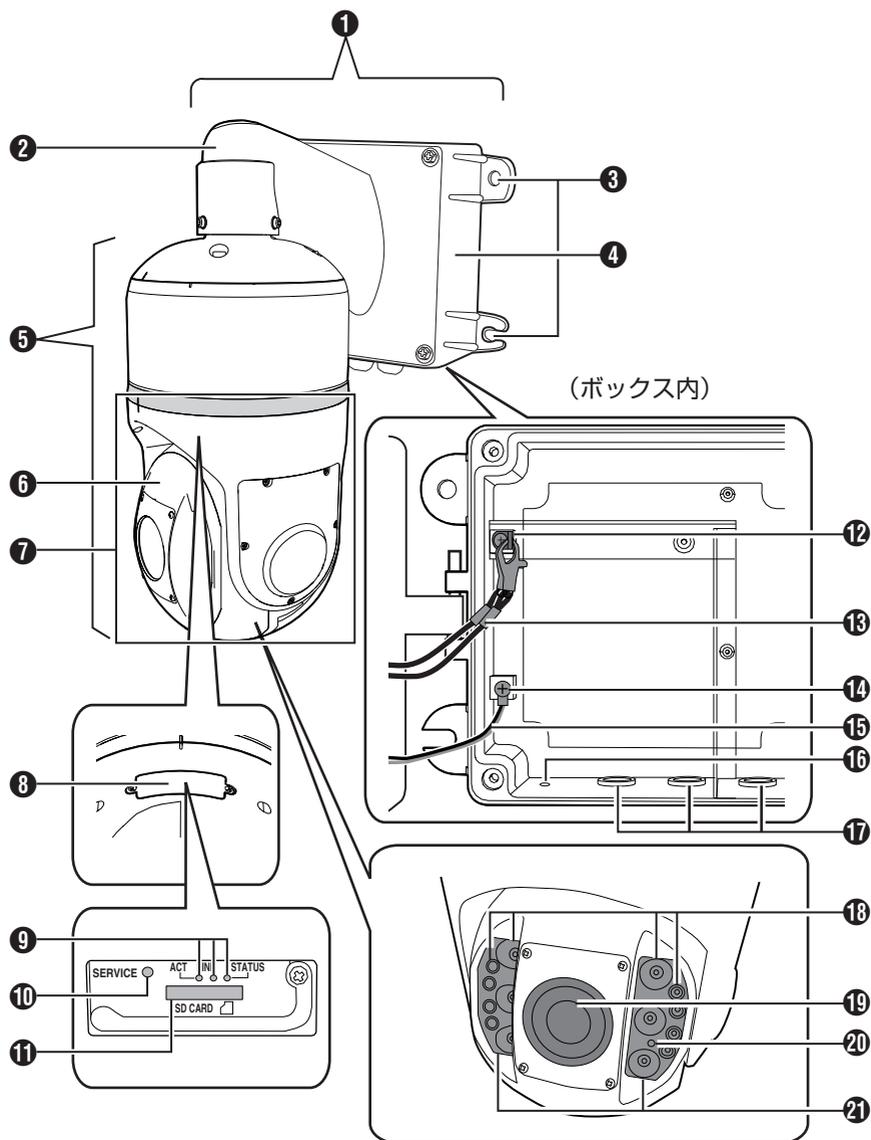
本機を取り付ける前に、下記の添付物・付属品が揃っていることをご確認ください。

- 取扱説明書(設置編):1
- テンプレート:1
- 保証書:1
- コネクターカバー:1

いずれかが同梱されていない場合は、お買い上げ販売店、または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。

製品概要

各部の名称



次のページへつづく

製品概要 (つづき)

- ① 壁面取付ブラケット
- ② 壁面取付ブラケット(アーム部)
- ③ 壁面取付ブラケット固定用穴(4 か所)
壁面取付ブラケットを壁に固定するための穴です。
- ④ 壁面取付ブラケット(ボックス部)
このボックス内で配線を行います。
- ⑤ カメラ本体
- ⑥ カメラヘッド部
- ⑦ パン/チルト機構部
この部分が回転します。設置時に持たないようにしてください。
- ⑧ microSD カバー
microSD カード挿入時にはずします。
- ⑨ 表示灯(サービス専用)
- ⑩ SERVICE スイッチ(サービス専用)
長押しすると設定がリセットされます。
- ⑪ microSD カードスロット
microSD カードを挿入します。(P.15)
- ⑫ 落下防止ワイヤー取付金具
カメラ本体側からの落下防止ワイヤーを取り付けます。
- ⑬ 落下防止ワイヤー(2本)
- ⑭ GND ワイヤー取付ねじ
- ⑮ GND ワイヤー
- ⑯ 水抜き穴キャップ
ボックス内に雨水の侵入が予想されるときは、このキャップをはずします。
- ⑰ ケーブルグランド(3個)
ここからケーブルを出します。
- ⑱ 赤外線照明
赤外光を照射します。
- ⑲ レンズカバー
- ⑳ 可視光センサー
デイナイト切り替え時に使用します。
- ㉑ LED カバー

- ① AC100 V ~ 200 V 電源コード
AC100 V ~ 200 V 電源と接続します。
- ② LAN ケーブル
ネットワークと接続します。
PoE++(IEEE802.3bt Draft2.0)に対応しており、電源配線なしで本機を使用できます。
- ③ アラーム入力
アラーム入力ケーブルです。

端子	説明
ALARM IN1	アラーム入力 1
ALARM IN2	アラーム入力 2
PT-STOP	パン/チルトの動作を止めるには、GND 端子と短絡した状態で電源を入れてください。 オープン状態にし、電源を切→入にすると解除されます。
DAYNIGHT IN	デイナイト用
GND	アラーム入力用 GROUND(接地)

- ④ モニター出力
本機設置時の位置調節などに使用します。モニターを接続してお使いください。監視用/記録用には適しません。
- ⑤ アラーム出力
アラーム出力ケーブルです。

端子	説明
ALARM OUT1	アラーム出力 1
COM1	アラーム出力 1 用 COMMON(共通)
ALARM OUT2	アラーム出力 2
COM2	アラーム出力 2 用 COMMON(共通)

- ⑥ オーディオケーブル
マイク入力、ライン出力ケーブルです。

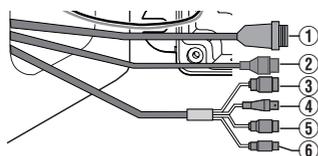
オーディオケーブルの信号一覧

端子	説明
AUDIO IN	プラグインパワー方式対応のコンデンサーマイクなどと接続します。
GND	AUDIO IN, AUDIO OUT の共通の GROUND(接地)
AUDIO OUT	アンプ内蔵スピーカーなどと接続します。

メモ: _____

- ケーブル類の長さは壁面取付ブラケット(アーム部)より約 650 mm です。
- 配線後各ケーブルは壁面取付ブラケット(ボックス部)内に収めます。

ケーブルについて



microSD カードについて

本機では、撮影した映像をカードスロット内の microSD カード(別売)に記録できます。

本機で使用可能な microSD カードについて

microSD カードは下記の仕様のものを使用してください。

- Class10 以上対応の microSDHC/SDXC カード、動作保証温度 85 °C 以上のもの
- ファイルシステムが FAT32 のもの

下記 microSD カードは本機に接続して、動作確認を行なっております。

- Panasonic RP-SMGB32GJK
- Panasonic RP-SMGB64GJK
- 東芝 MU-F032GX
- 東芝 MU-F064GX
- 東芝 MU-F128GX
- SanDisk SDSDQXP-032G-J35A
- SanDisk SDSDQXP-064G-J35A
- SanDisk SDSDQUPN-032G-J35A
- SanDisk SDSDQUPN-064G-J35A
- SanDisk SDSDQUPN-128G-J35A
- JVC ケンウッド KNA-SD32A

※ 上記条件を満たす microSD カードすべての動作を保証するものではありません。

メモ：

- microSD カバーを開けた状態で長時間放置しないでください。内部にごみが入り、故障の原因となる場合があります。
- 本機の電源を切ったり、microSD カードを取り出したりするときは、必ず、[microSD カード記録] ページで [アンマウント] ボタンを押してから行なってください。
- 動作確認していない microSD カードを使用する場合は、記録設定できても正常に記録ができない場合があります。
- microSD カードを取り出す場合は、microSD カードを軽く奥に押し込むと、ロックがはずれて取り出せるようになります。勢いよく飛び出すことがありますので十分注意し、失くさないようにしてください。
- microSD カードによっては、本機から取り出しにくいものがあります。
- microSD カードの挿入および交換は、本機の電源を切った状態で行なってください。

microSD カードの挿入について

microSD カードの向きを間違えると、カメラや microSD カードを破損する恐れがあります。microSD カードの差し込み口の挿入マークにあわせて、正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

microSD カードへの記録時間の目安

下記の記録時間については目安です。撮影環境や、お使いになる microSD カードによって異なることがあります。

(H.264、CBR 設定時の記録時間の目安です。)

(単位：時間)

ビットレート	容量		
	32GB	64GB	128GB
128 Kbps	500	1000	2000
384 Kbps	166	333	666
512 Kbps	125	250	500
1024 Kbps	62	125	250
2048 Kbps	31	62	125

製品概要 (つづき)

アラーム入出力信号について

アラーム入力信号

赤外線センサー、ドアセンサー、金属センサー、手動スイッチなどのセンサーと接続します。

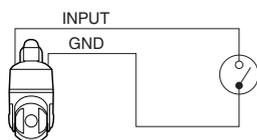
- アラーム入力信号は、内部回路へのノイズ混入を防止するため無電圧接点信号を加えてください。

メモ： _____

- [詳細設定] ページの [アラーム] ページで接点がショート(メイク)時にアラームとするか、接点がオープン(ブレイク)時にアラームとするか設定可能です。
- アラーム信号は 500 ms 以上続けて加えるようにしてください。それより短い場合、アラーム信号として認識されないことがあります。

ご注意： _____

- 電圧を供給しないでください。



定格

- ローレベル端子電流 : 5 mA 以下
- ハイレベル端子電圧 : DC 5.0 V

アラーム出力信号

報知器、表示器、ライト、ブザーなどの報知装置と接続します。

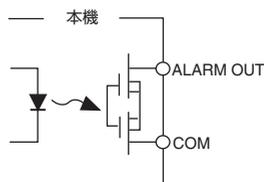
- アラーム出力信号はフォトカプラーで絶縁されたオープンドレイン出力となっています。

メモ： _____

- [詳細設定] ページの [アラーム] ページでアラーム時の接点をショート(メイク)とするかオープン(ブレイク)とするかを設定可能です。

ご注意： _____

- この端子は、極性がありますので必ず COM 側出力より ALARM OUT 側出力の電圧が高くなるよう接続してください。
- 逆電圧を加えると破損します。



定格

- 最大印加電圧 : DC 40 V
- 最大駆動電流 : 300 mA

設置・接続

カメラの取り付け

設置・接続の準備

カメラの取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行なってください。

壁面の準備

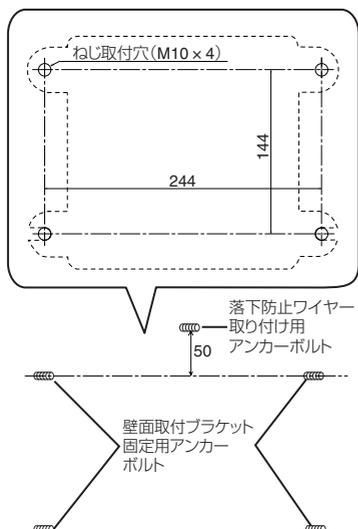
1 壁面取付ブラケット固定用のアンカーボルトを立てる

- 添付のテンプレートを使用してください。
- 壁面取付ブラケットを固定するためのアンカーボルト(M10×35 mm 以上)を4本立てます。
- 壁面取付ブラケットを固定するためのアンカーボルト上部2本の中央、50 mm上の位置を目安に落下防止ワイヤーを取り付けるためのアンカーボルトを立てます。

ご注意:

- 壁の強度を確認してください。強度が不足していると落下の原因となります。
- アンカーボルトはステンレス製をご使用ください。
- 必ずカメラが水平になるように設置してください(±5°以内)。上下逆付けや傾けて使用すると正しく動作しません。

アンカーボルト取付位置[単位: mm]



カメラの準備

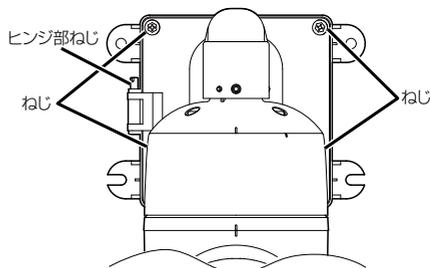
ご注意:

- 安全上、すべての接続が終わったことを確認してから電源を入れてください。
- 電源を入れると初期動作としてパン/チルト動作をします。初期動作を止めるためにはPT-STOP端子をGND端子と短絡した状態で電源を入れてください。
- 「ケーブルについて」の「③アラーム入力」(P.14)をご覧ください。
- 設置時にはパン/チルト機構部を持たないでください。
- 本機のレンズカバーは親水コートが塗布されています。直接手に触れないよう、設置時に保護シートをはがさないでください。設置完了後にはがすようにしてください。

1 梱装箱から本機を取り出す

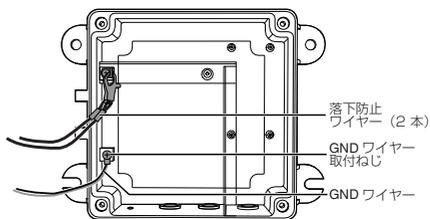
2 壁面取付ブラケット(ボックス部)をはずす

- ねじ(4本)をゆるめヒンジ部ねじをはずして、本機から壁面取付ブラケット(ボックス部)をはずします。



3 落下防止ワイヤーとGNDワイヤーをボックスからはずす

- GNDワイヤーは、GNDワイヤー取付ねじをゆるめてはずします。

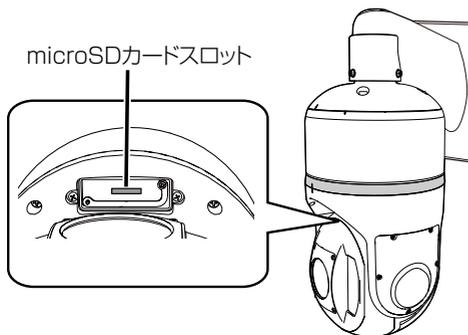


次のページへつづく

設置・接続(つづき)

4 microSD カードを挿入する

- microSD カバーのねじ(2本)をゆるめてカバーを開け、microSD カードを挿入し、microSD カバーを閉めます。
- 事前に、フォーマット済みの microSD カードを別途用意してください。
本機で使用可能な microSD カードについては、microSD カードについて(P.15)をご覧ください。



メモ:

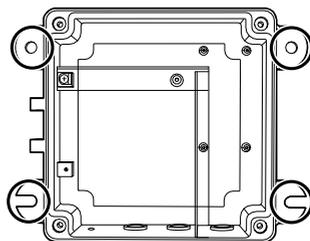
- microSD カードを取り出すときは、挿入と同じ手順で microSD カバーを取りはずしてから、カードを取り出してください。
microSD カードを奥に押し込むと、カードが取り出せます。
- microSD カードの挿入は、本機の電源を切った状態で行なってください。
microSD カードに書き込み中に電源を切ったり、取り出したりすると、カード内の記録データが破損します。
- microSD カードを取り出すときは、[SD カード記録] ページで [アンマウント] ボタンを押してから取り出してください。
- microSD カバーを取りはずしたり microSD カードを取り出すときは、工具や microSD カバー周囲の金属などで怪我をしないように気を付けてください。
- microSD カードを取り出すときに、勢いよく飛び出すことがありますので十分注意し、失くさないようにしてください。
- microSD カードを挿入または交換するときは、microSD カバーおよび microSD カードを落としたりなくしたりしないように注意してください。

5 壁面取付ブラケット(ボックス部)を壁に取り付ける

- 壁面取付ブラケット(ボックス部)をアンカーボルトに取り付け、ワッシャーとナット(別売)で固定します。

メモ:

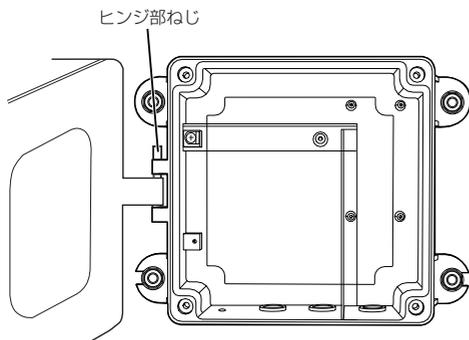
- ワッシャーとナットはステンレス製をご使用ください。
- ねじの締め付けはトルク 18.8N・m 以上で締め付けてください。



以上で設置・接続の準備は終了です。このあと、カメラ本体、壁面取付ブラケット(アーム部)を取り付けてください。(P.19)

カメラ本体と、壁面取付ブラケット(アーム部)の取り付け

1 カメラ本体と壁面取り付けブラケット(アーム部)をヒンジ部ねじでボックスに取り付ける

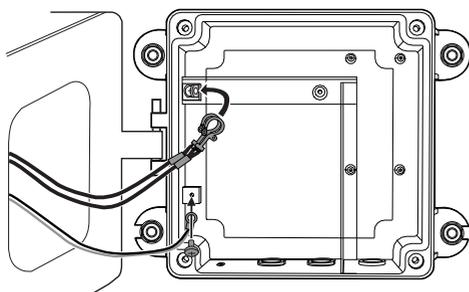


ご注意:

- 本機の質量は、約 10.2 kg あります。落下には十分に注意して取り付け作業を行なってください。
- 設置時は、安全のため、複数人で作業してください。

2 壁面取付ブラケット(アーム部)から出ている落下防止ワイヤー(2本)と、GND ワイヤーを取り付ける

- GND ワイヤーは、GND ワイヤー取付ねじで取り付けてください。

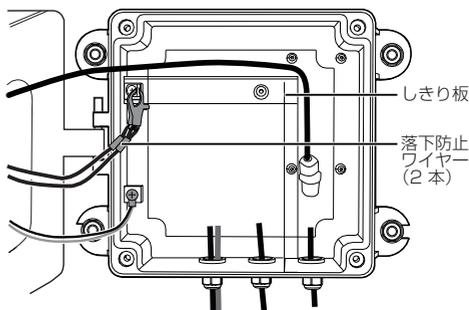


ご注意:

- ボックスの接地を確実にするため、必ず GND ワイヤーの取り付けを行なってください。

3 外部からのケーブル類をボックスの穴から引き入れる

- AC 電源使用時は、電源ケーブルを一番右の穴から通します。

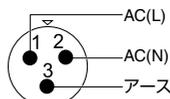


ご注意:

- 電源ケーブルのみ、必ずしきり板の外側に配置して他のケーブルと分けてください。
- ケーブルグランドの内径は $\phi 12$ mm です。複数のケーブル類をひとつのケーブルグランドに通すときは合計で $\phi 12$ mm を超えないようにしてください。
- ケーブル類の径が太くボックスに引き込めない場合は、別途中継ボックスを使用しケーブル径の変換を行なってください。

4 電源ケーブルを接続する

- 必ずアース接続を行なってください。
- AC100 V~200 V 電源で電源供給する場合は、電源ケーブルを接続してください。電源ソケット(メス)(NJC-203-PF)およびプッシング(CBAS-12-7)を準備し、各ピンに1~3まで番号が振られているので、ピンサインで示した配線を施してからカメラの電源コードについている電源ソケット(オス)とつなぎます。



- PoE++で電源供給する場合は、電源ケーブルの接続は不要です。次の手順へお進みください。

次のページへつづく

設置・接続(つづき)

ご注意： _____

- AC100 V～200 Vの接続は、電気工事士の有資格者が行なってください。
- 電源ケーブルに取り付ける電源用のソケット(メス)は七星科学研究所製の NJC-203-PF およびケーブルプッシング、CBAS-12-7 をご用意ください。
- 電源のソケットは防水仕様ではありません。必ず防水処理を行なってください。

電源ケーブル径： _____

- $\phi 12$ mm 以下、3芯、導体面積 0.75 mm²- 2.0 mm²

ご注意： _____

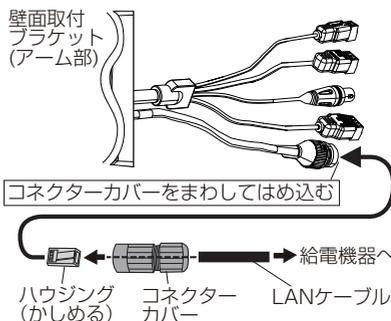
- 電源ケーブルと LAN ケーブルの両方から電源が供給された場合、電源ケーブルからの電源が優先されます。

注意

本機に電源を供給するには、AC100 V～200 V 50 Hz/60 Hz、または PoE++(IEEE802.3bt Draft2.0)を使用します。正しい電圧で使用してください。定格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発火の恐れがあります。故障した場合は、まず電源を切って、速やかにサービス窓口へ連絡してください。定格を超えた電源電圧を供給した場合、外観・動作に異常がなくても内部にダメージが残っている場合があります。速やかにサービス窓口へ連絡して点検(有償)を受けてください。

5 LAN ケーブルを接続する

- ① LAN ケーブルでハブまたはパソコンと、本機の LAN ケーブルコネクタを接続してください。
 - ハブに接続する場合：ストレートケーブルを使用してください。
 - パソコンに接続する場合：クロスケーブルを使用してください。
- ② コネクタ部分に、添付のコネクタカバーを取りつけ、その上から防水テープ(融着)を巻きつけ、LAN ケーブルを壁面取付ブラケット(ボックス部)内に収めます。



使用 LAN ケーブル

- UTP (UTP 推奨)
- 長さ 100 m 以下
- カテゴリ 5e 以上
- 外径 7.0 mm 以下推奨

メモ： _____

- 工場出荷時は IP アドレスが 192.168.0.2 に設定されています。

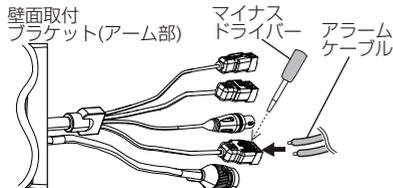
ご注意： _____

- -10 °C 以下の環境下で使用する場合は、AC100 V～200 V 電源で使用してください。PoE++ 電源使用時はヒーターが動作しません。
- パソコンによってはクロスケーブルを使用できない機種があります。カメラをパソコンに直結する場合には事前にパソコンの LAN 仕様を確認してください。
- 必ずコネクタカバーを取り付けてから防水テープを巻きつけてください。防水テープにより接触不良となる可能性があります。

- 同一 LAN 環境下で、工場出荷時のカメラを複数台同時に電源投入すると、IP アドレスの重複がおこり、正しくアクセスできなくなります。ホームページのビジネス向け製品・サービスの各種ダウンロードから JVC-VN-IP 設定ツールをダウンロードして設定するか、あるいは 1 台ずつ電源を投入し、重複しない IP アドレスを設定してください。
ホームページ: <http://www3.jvckenwood.com/>

6 アラーム信号ケーブルを接続する

- アラーム信号ケーブルと、センサー、ブザーなどの外部機器を接続します。
- アラーム信号ケーブルについてはアラーム入力(P.14)、アラーム出力(P.14)をご覧ください。
- アラーム入出力について詳しくは、アラーム入出力信号について(P.16)をご覧ください。
- アラーム信号ケーブルを接続したあとに、防水テープ(融着)を巻き付けます。
- 接続が完了したら、アラーム信号ケーブルを壁面取付ブラケット(ボックス部)内に収めます。



スクリューターミナルのピン端子にワイヤーを挿入してスクリューをマイナスドライバーで締めて固定します。スクリューターミナルはケーブルのコネクター部から抜くことができます。ケーブルのコネクター部から抜いて、配線したあとで差し込む場合は確実に奥まで差し込んでください。

使用アラーム信号ケーブル

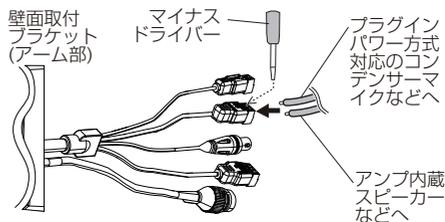
- 長さ 50 m 以下
- UL1007 または UL1015 相当品
- AWG14 ~ AWG24 相当品
- 外径 5.0 mm 以下推奨

ご注意:

- 使用しないケーブル類の先は、1 本ずつ必ず防水テープ(融着)などで、確実に防水処理を行なってください。
- 外来の雑音などによって、長さ 50 m 以下でも誤動作を起こす場合があります。その場合は、雑音源からケーブルを遠ざけるなどの処置を行なってください。

7 オーディオケーブルを接続する

- AUDIO IN 端子(P.14): プラグインパワー方式対応のコンデンサーマイクなどと接続します。
- AUDIO OUT 端子(P.14): アンプ内蔵スピーカーなどと接続します。



スクリューターミナルのピン端子にワイヤーを挿入してスクリューをマイナスドライバーで締めて固定します。スクリューターミナルはケーブルのコネクター部から抜くことができます。ケーブルのコネクター部から抜いて、配線したあとで差し込む場合は確実に奥まで差し込んでください。

オーディオ機器との接続ケーブル (マイク入力・ライン出力)

- シールドケーブル推奨
- 長さ 5 m 以下推奨
- 外径 5.0 mm 以下推奨

ご注意:

- 使用しないケーブル類の先は、1 本ずつ必ず防水テープ(融着)などで、確実に防水処理を行なってください。

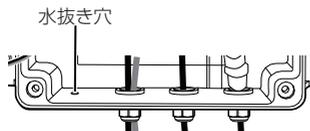
次のページへつづく

設置・接続(つづき)

8 ケーブル類を防水処理する

ご注意:

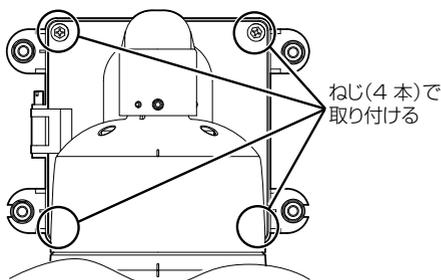
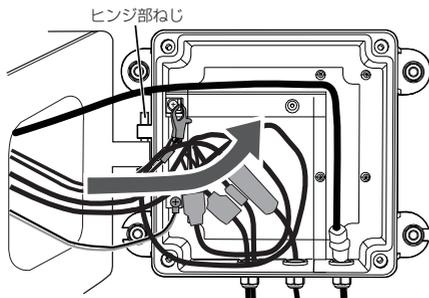
- ボックス内は防水ではありません。ケーブル接続部は必ず防水処理をしてください。
- ボックス内に水がたまる恐れがある場合は、ドライバーなどで押して、水抜き穴キャップをはずしてください。



- ケーブル類の接続部は必ず防水処理をしてください。防水は自己融着テープを端子部に巻きつけ、そのうえからビニールテープを巻きつけて処理してください。
- LAN ケーブルの防水処理は必ず添付のコネクタカバーを使用してください。自己融着テープにより接触不良となる恐れがあります。

9 カメラ本体と壁面取付ブラケット(アーム部)を壁面取付ブラケット(ボックス部)に取り付ける

- ねじ(4本)で取り付けます。

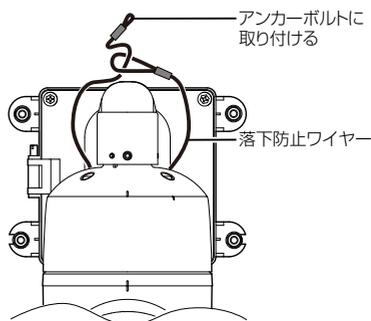


ご注意:

- 壁面取付ブラケット(ボックス部)ねじの締め付けは、スパナなどを使用してトルク 3.9N・m 以上で締め付けてください。
- 安全上、すべての接続が終わったことを確認してから電源を入れてください。カメラの初期動作でパン・チルト動作をするため危険です。
- ボックスを開けたまま、電源を入れないください。カメラが回転して危険です。

10 本機(カメラ本体と壁面取付ブラケット)用の落下防止ワイヤーを取り付ける

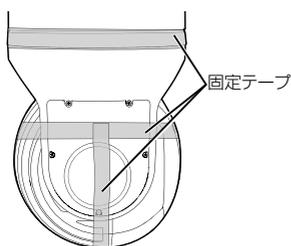
- 落下防止ワイヤーを壁面取付ブラケット(アーム部)に巻き付けます。
- 落下防止ワイヤーを、準備で立てた落下防止ワイヤー取付用のアンカーボルトに取り付けます。
- 落下防止ワイヤーは、ナットとワッシャーでしっかりと固定します。



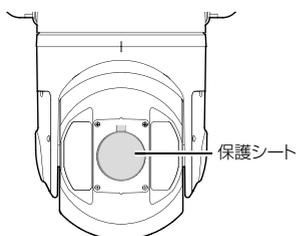
ご注意:

- 落下防止ワイヤーは付属していません。事前に質量に耐えられる強度のものを準備してください。
- 落下防止ワイヤー、ナット、ワッシャーは、ステンレス製のものを使用してください。

11 設置完了後、固定テープを取りはずす



12 レンズの保護シートをはがす



ご注意：

- レンズカバーの保護シートは力をかけず、ゆっくりと剥がしてください。急に剥がすと保護シートの粘着成分がレンズカバーに残ることがあります。このときはレンズカバーに水を付けると取れます。レンズカバーは傷つきやすいので布などで拭かないでください。

設置完了後、すべてのねじが確実に締められているか、必ず確認してください。

以上でカメラの設置は終了です。このあと、カメラの IP アドレスを設定してください。(P.28)

カメラの取りはずし

カメラを取りはずす場合は、取り付け時と逆の手順で行ないます。

動作環境

下記の表は本機の使用に必要な最低限の動作環境を示しています。この環境を満たすハードウェアやソフトウェアの使用をおすすめします。

システムハードウェア	
CPU	Intel Core i5 3.40 GHz 以上
RAM	4 GB 以上
ディスプレイ	1920×1080 ピクセル以上、True Color (24 bit/32 bit)
システムソフトウェア	
オペレーティングシステム	Windows 10 Pro (64 bit)、Windows 8.1 (32 bit/64 bit)、Windows 7 Professional SP1 (32 bit/64 bit)
ブラウザ	Internet Explorer 11 (32 bit)
電源	
電源	AC100 V ~ 200 V または PoE++ (IEEE802.3bt Draft2.0)
ネットワーク	
有線	10BASE-T/100BASE-TX イーサネット (RJ-45 コネクター)
映像の再生	
本機のビューワの録画ボタンと SD カード記録で録画した映像については、オペレーティングシステムごとに下記のプレーヤーで再生を確認しています。	
• Windows 10 Windows Media Player (バージョン: 12)	
• Windows 8.1 Windows Media Player (バージョン: 12)	
• Windows 7 Windows Media Player (バージョン: 12)	

メモ：

- ディスプレーのリフレッシュレートは 60 Hz 以上で使用してください。60 Hz に満たない場合、ビューワで表示中の映像の動きの滑らかさが失われることがあります。

ご注意：

- PoE ++ をご使用になる場合は、PoE ++ ネットワークの接続にルーターや異種の機器を使わないでください。

設置・接続(つづき)

ネットワークについて

- 本機が送信するデータ量に対して十分なネットワーク帯域を確保してください。また、帯域を超えるマルチキャストストリームを流さないください。マルチキャストストリームによって帯域が専有されると、ネットワーク経由で本機を制御できなくなる場合があります。
- 本機が送信するデータ量は設定や配信数によって異なります。
- 送信できるビットレートの上限は 40 Mbps 未満です。
- 最大 10 クライアントまで同時配信可能です。

フレームレートとフレームサイズ

本機は最大 4 チャンネルの同時エンコードが可能ですが、設定可能なフレームサイズとフレームレートの組み合わせに制約があります。組み合わせの制約について詳しくは、取扱説明書の [設定]-[カメラ]-「エンコーダーで設定できるフレームサイズの組み合わせ表」をご参照ください。

JPEG のファイルサイズ

本機の JPEG エンコーダーは、JPEG の画質設定に合わせてエンコード時の量子化テーブルを一定に保つため、ファイルサイズはエンコードの設定だけでなく、カメラ映像に応じて増減します。設定できるファイルサイズについては、取扱説明書の [設定]-[カメラ]-[エンコード]-「JPEG 設定時の画質とフレームサイズごとのファイルサイズの目安」をご参照ください。

H.264 ストリームのビットレート

H.264 ストリームのビットレート方式は、VBR(可変ビットレート)または CBR(固定ビットレート)のいずれかの方式を選択できます。VBR 方式はカメラ映像の状況に応じてビットレートが変化します。VBR 方式の場合、画質は安定しますが、ビットレートの予測が困難です。CBR 方式はカメラ映像の状況に関係なく、一定のビットレートでエンコードします。CBR 方式の場合、画質が変化しますがビットレートの予測が容易です。VBR、CBR とも、目安としてのビットレートを設定できます。

音声のデータ量

受信する音声データのストリーミング本数は最大で 1 本です。音声データはサンプリングレートを 8000 Hz に設定したとき 1 本当たり 64 kbps です。音声のデータ量は次の式で計算できます。

64 kbps x 本数

ストリーミング本数は TCP で送信している本数(クライアントの数)、マルチキャストで送信している本数、および受信している本数を合計したものです。例えば本機が 2 本の音声を送信し、1 本の音声を受信している場合、データ量は次のようになります。

$64 \text{ kbps} \times 3 = 192 \text{ kbps}$

ネットワーク帯域が不足した場合

帯域が不足するとクライアントで取得できる JPEG の枚数(フレームレート)が少なくなります。また、映像配信が遅延します。H.264 の場合、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。

ネットワークの遅延

クライアントが JPEG を TCP で取得する場合には、クライアントからの ACK を確認しつつ本機は送信します。遅延が大きいネットワークでは ACK を受信するまで送信できないため、フレームレートが低下します。H.264 の場合、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。マルチキャストで受信すれば、ネットワークの遅延によるフレームレート低下はなくなります。

ネットワークのジッター

ネットワークのジッターが大きいと、遅延時間の増大、映像のフレームレートの低下が起こります。H.264 の場合は、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。

パケットロス

本機から TCP で映像を取得する場合は、パケットロスが TCP の再送によってリカバリーされます。ただし再送による遅延が大きい場合には、データが欠落し、映像のフレームレート低下が起こります。H.264 の場合は、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。

本機からのマルチキャスト送信でパケットロスが起こった場合は、映像のフレームレート低下が起こります。H.264 の場合は、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。

映像の滑らかさについて

フレームサイズが 1920x1080、フレームレートが 60fps のとき、ビューワーの映像が滑らかに表示されない場合があります。このとき、記録映像には影響ありません。

使用するプロトコル、ポート番号一覧

本機では下記のプロトコル、ポート番号を使用します。ファイアウォールを設置する場合にはこれらのポートを通過させてください。

プロトコル/ポート番号	用途
送信元	
TCP/80	JPEG/H.264 取得、設定画面、API、音声取得
TCP/554	RTSP
TCP/32040	アラーム送信
TCP/49298	音声データ受信
宛先	
TCP/ユーザー設定番号	アラーム送信
UDP/ユーザー設定番号	
TCP/20、21	FTP
TCP/25	メール送信
TCP/110	POP(メール送信)
UDP/123	SNTP
UDP/161	SNMP

運用プロトコルについて

ONVIF について

本機は、ONVIF (Open Network Video Interface Forum)に対応しています。

ONVIF は、監視機器のネットワークプロトコルを標準化している団体です。

ONVIF では、監視機器を発見するプロトコル、監視機器の設定を取得・変更するプロトコル、映像音声データを送受信するプロトコルなどが標準化されています。

ユーザー名、パスワードの初期値は次のとおりです。

ユーザー名: admin

パスワード: jvc

また、本機は ONVIF Profile S を満たしています。

設置・接続(つづき)

接続

映像確認の準備

本機が撮影する映像は複数のブラウザで確認することが可能です。映像の確認には、下記の手順で表示を有効にすることが必要です。

1 Cookie を有効にしてください。

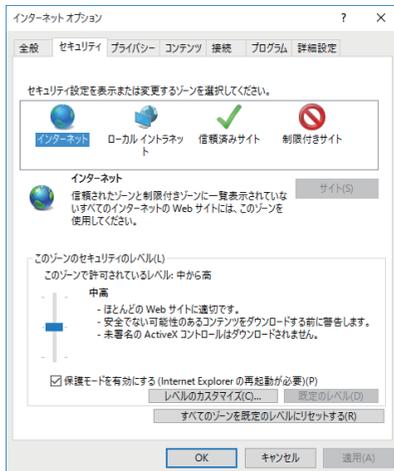
- Internet Explorer で、ツールメニュー(⚙)をクリックし、表示されたメニューにある**インターネットオプション**をクリックしてください。
- **プライバシー**タブで詳細設定を開き、**ファーストパーティの Cookie と、サードパーティの Cookie**の両方で、**承諾する**を選択します。
- **OK**をクリックしてください。

2 プロキシサーバーを使用する場合は、プロキシサーバーの設定を行なってください。

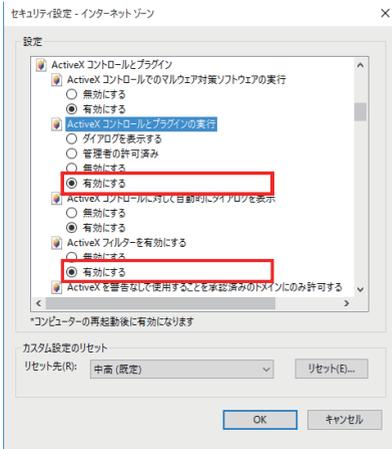
- Internet Explorer のツールメニュー(⚙)をクリックし、表示されたメニューにある**インターネットオプション**をクリックします。**接続**タブを選択して **LAN の設定**をクリックし、プロキシサーバーの設定を行なってください。

3 セキュリティ設定を下記のように変更してください。

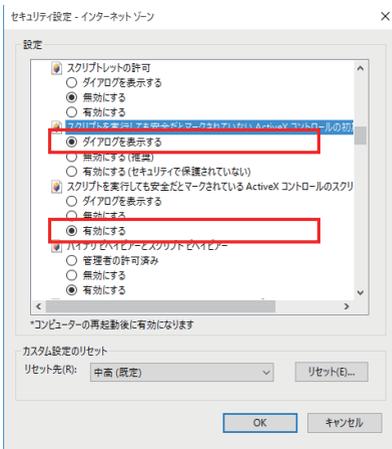
- ツールメニュー(⚙)をクリックし、表示されたメニューにある**インターネットオプション**をクリックしてください。
- **セキュリティ**タブを選択します。
- インターネット内で本機を操作する場合は **インターネットアイコン**をクリックします。
- イン트라ネット内で本機を操作する場合は **ローカル イン트라ネットアイコン**をクリックします。
- **レベルのカスタマイズ**をクリックすると、セキュリティ設定-インターネットゾーン画面(もしくはローカルイントラネットゾーン画面)が開きます。



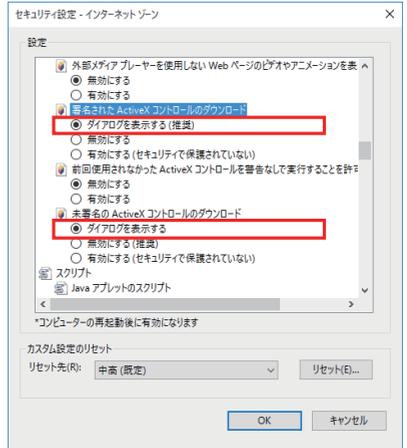
- ActiveX コントロールとプラグインを下記のように設定します。
 [ActiveX コントロールとプラグインの実行] ⇒ 有効にする
 [ActiveX コントロールに対して自動的にダイアログを表示] ⇒ 有効にする



- [スクリプトを実行しても安全だとマークされていない ActiveX コントロールの初期化とスクリプトの実行] ⇒ **ダイアログを表示する**
 [スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行*] ⇒ **有効にする**



- [署名された ActiveX コントロールのダウンロード] ⇒ **ダイアログを表示する(推奨)**
 [未署名の ActiveX コントロールのダウンロード] ⇒ **ダイアログを表示する**



- OK をクリックして設定を保存してください。
- 開いているブラウザ画面をすべて閉じてから再開すると、設定が有効になります。
- ブラウザーに IP アドレスを入力してください。
- カメラ映像が画面に表示されます。
- ホームページのビジネス向け製品・サービスの各種ダウンロードから「JVC VN 検索ツール」をダウンロードして、LAN 内の本機を検索することができます。
 ホームページ:
<http://www3.jvckenwood.com/>

設置・接続(つづき)

IP アドレス(工場出荷値)

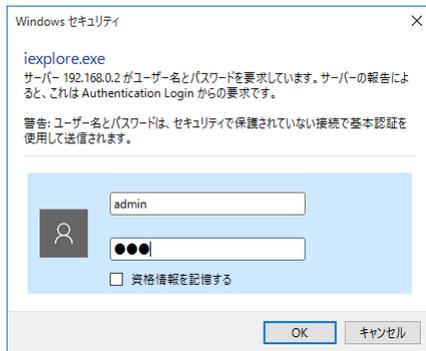
本機はネットワーク接続を前提としていますので、IP アドレスを最初に割り当てる必要があります。本機の IP アドレスは初期設定で **192.168.0.2**、またサブネットマスクは **255.255.255.0** となっています。ご使用のネットワーク環境に合わせ、IP アドレス/サブネットマスクを変更してください。なお、DHCP サーバーから自動的に IP アドレスを割り当てる運用の場合には、“ネットワーク”の“IP 設定”で“DHCP”を選択してください。

パソコン接続および映像確認の準備

この手順の説明は、下記の環境で行なっています。
オペレーティングシステム: Windows10(64 bit、Pro)
ブラウザ: Internet Explorer 11(32 bit)

パソコンへの接続

- 1 本機とパソコンが同一のサブネットにあることを確認してください。
- 2 デフォルトの IP アドレスを使って本機とパソコンがネットワーク接続されていることを確認してください。
 - 「コマンドプロンプト」を起動します。
“ping 192.168.0.2” と入力し、ネットワーク接続されていると、“~からの応答” というメッセージが表示されます。
- 3 Internet Explorer を起動して IP アドレスに“192.168.0.2”を入力します。
 - ログイン画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。工場出荷時は **admin**(ユーザー名)、**jvc**(パスワード) が設定されています。
本機の設定については、取扱説明書の“設定”ページをご覧ください。
 - Internet Explorer は管理者として実行してください。



その他

こんなときは

症状	原因と対応
PoE 給電機器で電源供給しても、電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● PoE++ (IEEE802.3bt Draft2.0) 対応の給電機器とカテゴリ 5e 以上/100m 以下の LAN ケーブルで接続していますか？ ● PoE 給電機器 (ハブなど) によっては、供給できるトータル電力の制限を超える台数の PoE 端末機器を接続すると、電源を供給しないものがあります。PoE 給電機器の取扱説明書をご覧ください。
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● クライアントパソコンが HTTP で本機へアクセスする場合のポート番号の指定は合っていますか？ (ポート番号が間違っている場合は、ビューワーの各種メニューは表示されますが、映像は表示されずに“接続に失敗しました”と表示されます。) ● Internet Explorer を使用していますか？ ビューワーの HTTP ポートの値に、本機のプロトコルページの HTTP サーバーポートと同じ値を指定してください。 ● Internet Explorer を使用してください。本機は Internet Explorer でのみ動作します。
画面の一部が見えなくなる	<ul style="list-style-type: none"> ● Internet Explorer の拡大倍率を 100% に設定してください。 ● Internet Explorer を終了し、再度 Internet Explorer を起動してください。
映像がボケてしまう	<ul style="list-style-type: none"> ● 明るいところでアイリス制御がオートになっているとフォーカスが合わせづらくなります。アイリス制御を OFF にするとフォーカスは合わせやすくなりますが白飛びする恐れがありますので、シャッタースピードにて映像の調整を行なってください。

症状	原因と対応
映像表示が滑らかではない	<ul style="list-style-type: none"> ● CPU やメモリーの負荷変動、ネットワークのジッターなどの要因によって、本機からの映像が滑らかに見えない場合があります。また、SD カードの記録中は、配信能力が低下する場合があります。 ビューワーの [設定] - [カメラ] - [エンコード] より [フレームレート]、[ビットレート] もしくは [画質] を下げて映像を確認してください。 または、ビューワーの [設定] - [システム] - [システム情報] - [低遅延モード] を OFF にして映像を確認してください。 ● マルチディスプレイ環境でお使いの場合に、映像が滑らかに見えない場合があります。このようなときは、シングルディスプレイでご使用ください。
microSD カードが入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● microSD カードの向きを確認してください。
SD カードに記録した映像のフレームレートが設定より少ない、または変動する	<ul style="list-style-type: none"> ● 電子感度アップ機能がはたらくと、感度を上げるために SD カードに記録される映像のフレームレートが減少します。そのため、再生コマ数が少なくなったり、変動することがあります。 [設定] - [カメラ] - [露光設定] ページで、[電子感度アップ] を低い倍率に設定してください。
本機の IP アドレスがわからない	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場出荷時から変更していない場合、IP アドレスは 192.168.0.2、サブネットマスクは 255.255.255.0 です。 ● [IP 設定] が“DHCP” に設定されており、DHCP サーバーが存在しない LAN で起動した場合は、工場出荷時の IP アドレスで起動します。 ● 同じ LAN に設定されているパソコンからであれば、“JVC VN 検索ツール” を使用して検索してください。

その他 (つづき)

症状	原因と対応
本機の設定ページを閲覧できない	<ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorer の設定を確認してください。また、プロキシサーバーを使用する場合は、Internet Explorer のプロキシサーバーの設定を行なってください。
ビューワーをインストールできない / ビューワーを起動すると警告メッセージが出る / 映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorer の設定を確認してください。ビューワーは ActiveX というソフトウェアコンポーネントで構成されています。初めてビューワーを使うときに ActiveX がインストールされますが、アンチウイルスソフトの設定によっては ActiveX のインストールができない場合があります。そのような場合にはアンチウイルスソフトの設定を変更してからビューワーをインストールしてください。
設定に対して、表示される映像のビットレートが低い	<ul style="list-style-type: none"> • [フレームレート]によっては、設定したビットレートを大きく下回る場合があります。
3次元ノイズリダクションを使用すると残像が生じる	<ul style="list-style-type: none"> • 3次元ノイズリダクション使用時は、原理上、動きのある被写体で残像が生じることがありますが、故障ではありません。
外部マイク音声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> • マイクが AUDIO IN 端子に接続されていることを確認してください。 • 音声入出力の設定が OFF になっていませんか？ ON にしてください。

症状	原因と対応
昼間なのに映像が白黒になっている	<ul style="list-style-type: none"> • デイナイト切り替え設定がナイトモードになっている、または露光設定のカラーモードが白黒になっている場合に映像が白黒になります。撮影環境に合わせて正しく設定してください。 本機の可視光センサーに光が当たらない環境になると、デイモード用の設定に切り替わりません。
ホワイトバランスを AWC(MANUAL)でうまく調整できない	<ul style="list-style-type: none"> • OnePushAWC での調整範囲のほうが手動調整範囲よりも広いため、色味の強い特殊光源や被写体での撮影にて OnePushAWC での合わせこみを行なったあとは、手動での微調整を行うと 1 段階以上の変化が起こる場合があります。色味の強い特殊光源や被写体での撮影ではホワイトバランスの微調整は行わないでください。
ビューワーの静止画保存アイコン(📷)を押したときや、録画アイコン(📹)を押したときに、ファイルがパソコンに保存されない	<ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorer を管理者として実行してください。下記の操作にて実行できます。 <ol style="list-style-type: none"> ① Internet Explorer を右クリックする ② [管理者として実行] を選択する

症状	原因と対応
TCP/UDP によるアラーム通知をパソコンで受信できない	<ul style="list-style-type: none"> • Windows のファイアウォールによってポートがブロックされている場合があります。使用するパソコンの Windows 環境のファイアウォールに対しては、下記操作を実行してください。 <ol style="list-style-type: none"> ① [コントロールパネル]を表示する ② [システムとセキュリティ]を開く ③ [Windows ファイアウォール]の[ファイアウォールの状態の確認]を開く ④ [詳細設定]メニューを開き、[受信の規則]-[新しい規則]を選択する ⑤ [新規の受信の規則ウィザード]で[規則の種類]の“ポート”を選択する ⑥ [プロトコルおよびポート]で“特定のローカルポート”にポート番号を入力する ⑦ [操作]で“接続を許可する”を選択する ⑧ [プロファイル]で適用条件を選択する ⑨ [名前]で“名前”に任意の文字列で登録する ⑩ [完了]をクリックし、設定を終了する <ul style="list-style-type: none"> • 使用するネットワークネットに設けられたファイアウォールや上記の操作で問題を解決できない場合には、ネットワーク管理者または設置業者に相談してください。

その他 (つづき)

保証とアフターサービス

保証書の記載内容で確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容によって、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねません。故障その他による営業上の機会損失は補償いたしません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望に応じて有料にて修理いたします。

消耗部品について

下表の部品は消耗部品であり、寿命時間や回数を目安に交換が必要です。寿命時間は目安であり、使用環境や使用条件によって異なります。これらの部品の交換にともなう部品代および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。

消耗部品	寿命の目安
カメラユニット ズーム動作 フォーカス動作	約 200 万動作 約 400 万動作
スリップリング	約 400 万動作
レンズカバー/ガラス面の 親水コート	寿命は設置環境により 異なります

サービス窓口

- 下記 URL をご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>
- 業務用修理窓口(045-939-7320)

サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店、または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口にご相談ください。

品名	: 屋外 HD ネットワークコンビ ネーションカメラ
型名	: VN-H678WPR
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的 に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

カメラ部

撮像デバイス : 1/2.86 型 CMOS
有効画素数 : 235 万画素、1944 (H) × 1213 (V)
撮像面積 : 5.28 mm (H) × 2.97 mm (V)
カラー撮像方式 : 単板 原色 ローリングシャッター方式
走査方式 : プログレッシブスキャン
最低被写体照度 : カラー: 0.1 lx (F1.6, 50%出力, AGC HIGH, 1/60, 電子感度アップ×2, マニュアルフォーカス)
白黒: 0.05 lx (F1.6, 50%出力, AGC HIGH, 1/60, 電子感度アップ×2, 赤外照明 OFF, マニュアルフォーカス)
ホワイトバランス: ATW-WIDE, ATW-NARROW, ATW-FULL, AWC(MANUAL)
AGC : 有り (MID, HIGH, OFF)
電子シャッター : オート: 最大・最小シャッター速度を設定
マニュアル: 1/60~1/30000, フリッカレス
電子感度アップ : 可能 (OFF, x2, x4, x8, x16, x32)
BLC (逆光補正) : 有り (ON, OFF)
ワイドダイナミックレンジ : 2 シャッター WDR
霧除去 : 有り (OFF, Low, Mid, High)
イメージスタビライザー : 有り (ON, OFF)、電子式
カラーレベル : 調整可能
ブラックレベル : 調整可能
エンハンスレベル : 調整可能
3次元ノイズリダクション : 有り (OFF, Low, Mid, High)
ダイナイト機能 : 赤外カットフィルター挿抜、赤外照明照射
赤外照明 : 照射距離 150 m (ズーム連動、ズーム 6 倍以上)
フリップモード : 選択可能 (OFF, デジタルフリップ, メカニカルフリップ)
プライバシーマスク : 24 個の矩形領域を設定可能
アラーム入力 : 2 系統、メイクブレイク選択
パン/チルト停止 : 1 系統、メイク入力
ダイナイト切替入力 : 1 系統、メイクブレイク選択
アラーム出力 : 2 系統、オープンドレイン
許容印加電圧: DC40 V 以下、許容流入電流: 300 mA 以下

モニター出力 : BNC、使用時はエンコーダー 3 使用不可
音声出力 : 1 系統
音声入力 : 1 系統
プラグインパワーマイク対応
microSD カード : 有り (microSDHC/microSDXC)
スロット

レンズ部

焦点距離 (倍率) : f=4.3 mm~129 mm (光学 30 倍)
最大口径比 : F1.6 (ワイド端)~4.7 (テレ端)
包括角度 (水平×垂直) : 65.1°×38.4° (ワイド端)
16:9 時設計 : 2.6°×1.5° (テレ端)
親水コーティング: レンズカバーに有り
赤外カットフィル: 有り
ター切替
近赤外ズームト : 対応
ラッキング
水平解像度 : 中心: 900 TVL 以上、周辺: 600 TVL 以上
最小絞り : オートアイリス時: F9 相当 (ワイド端)
電子ズーム : 最大 32 倍
最至近距離 : 1.2 m

推奨 PC

OS : Windows 10 Pro (64 bit)
Windows 8.1 (32 bit/64 bit)
Windows 7 Professional SP1 (32 bit/64 bit)
CPU : Intel Core i5 3.40 GHz 以上
メモリー : 4 GB 以上
ハードディスク容量 : 512 MB 以上の空き容量
量
ディスプレイ : 1920×1080 ピクセル以上、True Color

回転機構部

水平回転範囲 : 360° エンドレス回転
水平回転速度 : 1°/s~300°/s
垂直回転範囲 : -30°~210° (正面水平を 0°とし、そこから上方向をマイナスとし、逆方向をプラスとする)
垂直回転速度 : 1°/s~300°/s

次のページへつづく

その他 (つづき)

ネットワーク部

インターフェース: RJ-45, 10Base-T/100Base-TX (AUTO NEGOTIATION)
通信プロトコル: IPv4, IPv6, HTTP, TCP, UDP, FTP, RTP, RTSP, RTCP, SMTP, DHCP, SNTP, SNMP v1/v2c/v3, ICMP, IGMP, DNS, DDNS, ARP
標準化プロトコル: ONVIF profile S
画像圧縮フォーマット: H.264 (Main/High profile)/JPEG
フレームサイズ: 1920 × 1080, 1280 × 960, 1280 × 720, 640 × 480, 640 × 360, 320 × 240
圧縮設定(H.264): VBR/CBR(ビットレート設定可能 128 kbps~12288 kbps)
圧縮設定(JPEG): VFS(クオリティ設定可能)
フレームレート: 最高 60 fps (WDR 時は 30 fps)
音声圧縮方式: G.711μ-Law
音声ファイル: WAVE ファイル形式 (リニア PCM, 8 kHz, 16 bit, モノラル)
配信方式: ユニキャスト/マルチキャスト
ビューワー: Web ブラウザー Internet Explorer 11(32bit)
接続クライアント: 最大 10(エンコーダ CH あたり最大 8)
最大合計配信レー: ビットレート合計が 40 Mbps 未満
ト
マルチエンコード: 異なるフレームサイズや圧縮形式、ビットレートで同時 4 本までエンコード可能
動き検出機能: 有り(ホームポジションのみ)
妨害検出機能: 有り(ホームポジションのみ)
異音検出機能: 有り
ネットワーク障害: 有り
検出機能
Web サーバー機能: 有り
FTP クライアント機能: 有り
FTP サーバー機能: 有り(SD カード記録ファイルダウンロード用)
メール通知機能: 有り
DHCP クライアント機能: 選択可能(工場出荷時:無効)
SNTP クライアント機能: 有り
アクセス保護機能: 有り(パスワードによる 3 段階設定)

SD カード機能: H.264、プリ(7 秒)ポスト(60 秒)アラーム記録
連続記録(映像:H.264 音声:G.711)
Web ブラウザーによる再生、ダウンロード可能
FTP 映像送出機能: JPEG, 640×360、毎秒 1 枚
ポスト(60 秒)アラーム記録、連続記録
オートリターン: 有り
オートパン: 有り
オートパトロール: 有り(32 箇所×3 セット)
プリセットポジション数: 最大 256 個

総合

電源: AC 100 V~200 V, 50 Hz/ 60 Hz
または DC-54 V (IEEE802.3bt Draft2.0 準拠の PoE++)
AC 電源を使用するときは別途電源ソケット(メス)が必要です。
消費電力: AC 100 V~200 V: 110 W, PoE++ : 51 W
消費電流: AC 100 V~AC 200 V: 1900 mA, PoE++ : 940 mA
周囲温度: -40℃~50℃(動作, AC 電源使用時)
-30℃~40℃(推奨, AC 電源使用時)
-10℃~50℃(動作, PoE++ 使用時)
-10℃~40℃(推奨, PoE++ 使用時)
湿度: 20%RH~90%RH(結露なきこと)
防塵防水性能: IP66 準拠(JIS C 0920)
氷結時損傷保護: UL50E(NEMA 4X 相当)
許容風速: 60 m/s(非破壊、回転機構速度 60°/s 以下、マニュアル動作推奨)
40 m/s(全動作)
内部時計精度: 月差 5 分以内
外形寸法: 幅 274 mm × 高さ 456 mm × 奥行 318 mm(突起物含まず)
質量: 約 10.2 kg(カメラ本体 7.2 kg、壁面取付ブラケット 3 kg)
仕上: 耐塩塗装
色: 外装:パールグレー(マンセル 0.9PB8.5/0.4 近似)
アクセント: ライトシルバー(マンセル 1.5PB8.4/0.3 近似)

※ 本機は「高調波電流規格 JIS C61000-3-2 適合品」です。

添付物・付属品

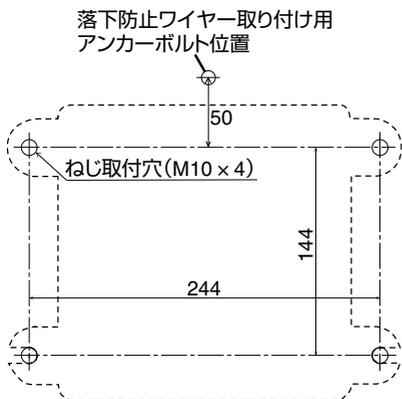
取扱説明書(設置編):1

テンプレート:1

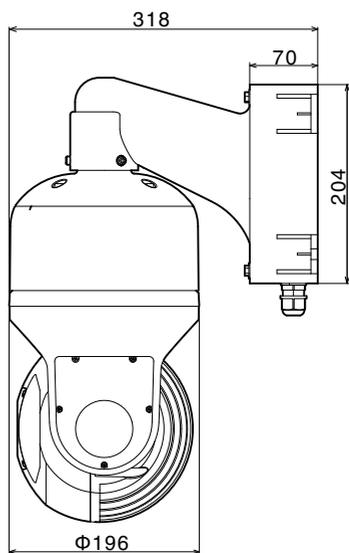
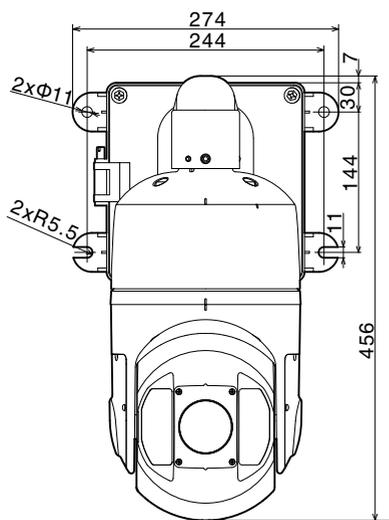
保証書:1

コネクターカバー:1

壁面取付穴[単位:mm]



外形寸法図[単位:mm]



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

**JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター**

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12